

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【公表番号】特表2012-533600(P2012-533600A)

【公表日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2012-521031(P2012-521031)

【国際特許分類】

C 07 C	41/30	(2006.01)
C 07 C	43/23	(2006.01)
C 07 C	43/205	(2006.01)
C 07 C	41/20	(2006.01)
C 07 B	61/00	(2006.01)

【F I】

C 07 C	41/30	
C 07 C	43/23	A
C 07 C	43/205	A
C 07 C	41/20	
C 07 B	61/00	3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年10月9日(2014.10.9)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

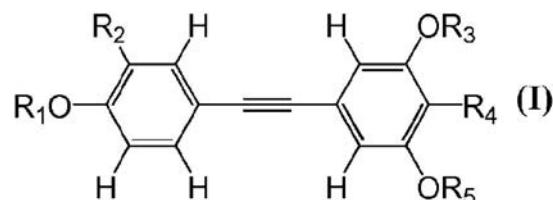
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)の化合物

【化1】



〔式中、

R₁は、H；線状、分枝状、もしくは環状のC₁～C₆アルキル；テトラヒドロピリル、または-C₂H₅-フェニルであり；

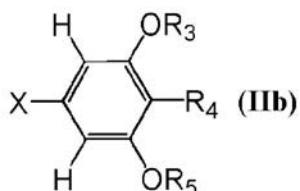
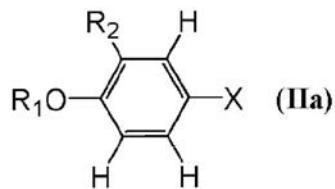
R₂はHまたはOR₂であり、ここでR₂は、H；線状、分枝状、もしくは環状のC₁～C₆-アルキルまたは-C₂H₅-フェニルである；

R₃は、H；線状、分枝状、もしくは環状のC₁～C₆アルキル；テトラヒドロピリル、または-C₂H₅-フェニルであり；

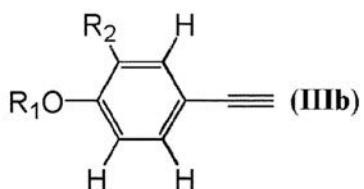
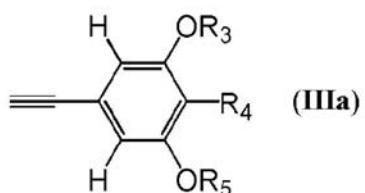
R₄はHまたはOR₄であり、ここでR₄は、H；線状、分枝状、もしくは環状のC₁～C₆-アルキルまたは-C₂H₅-フェニルであり；

R₅は、H；線状、分枝状、もしくは環状のC₁～C₆アルキル；テトラヒドロピリル

、または - CH_2 - フェニルである]
の生成方法であって、式 (IIa) または (IIb) の化合物
【化 2】



[式中、
置換基 R_1 、 R_2 、 R_3 、 R_4 、および R_5 は、式 (I) について定義されたのと同じ意味を有し、
 X は、- I ; - Br ; - Cl ; または - N_2 である]
と式 (IIIa) または (IIIb) の化合物
【化 3】



[式中、
置換基 R_1 、 R_2 、 R_3 、 R_4 、および R_5 は、式 (I) について定義されたのと同じ意味を有する]
を反応させる方法において、
不均一系触媒系が使用されることを特徴とする方法。

【請求項 2】
式 (IIa) の化合物と式 (IIIa) の化合物を反応させる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】
式 (IIb) の化合物と式 (IIIb) の化合物を反応させる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】
 R_1 は、H ; - CH_3 ; - CH_2CH_3 、または - CH_2 - フェニルであり；

R_2 は、H または OR_2' であり、ここで R_2' は - CH_3 または - CH_2CH_3 であり；

R_3 は、H； - CH_3 ； - CH_2CH_3 、または - CH_2 -フェニルであり；

R_4 は、H または OR_4' であり、ここで R_4' は - CH_3 または - CH_2CH_3 であり；

R_5 は、H； - CH_3 ； - CH_2CH_3 、または - CH_2 -フェニルである、
請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

R_1 は、H； - CH_3 ；または - CH_2CH_3 であり；

R_2 は、H または OR_2' であり、ここで R_2' は - CH_3 または - CH_2CH_3 であり；

R_3 は、H； - CH_3 ；または - CH_2CH_3 であり；

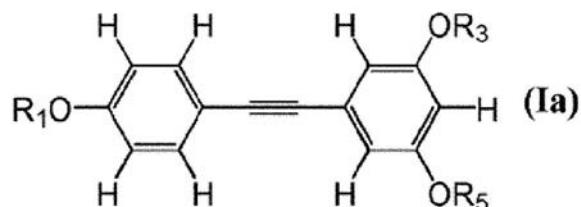
R_4 は、H または OR_4' であり、ここで R_4' は - CH_3 または - CH_2CH_3 であり；

R_5 は、H； - CH_3 ；または - CH_2CH_3 である、
請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記式 (I) の化合物が、式 (Ia) の化合物

【化 4】



[式中、

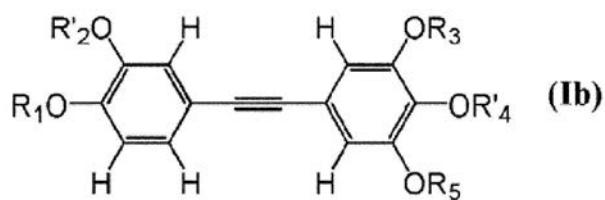
R_1 、 R_3 、および R_5 は互いに独立して、H；線状、分枝状、または環状の C_1 ~ C_6 -アルキル；テトラヒドロピリル、または - CH_2 -フェニルである]
であり、

前記式 (IIa)、(IIb)、(IIId) および (IIIf) における R_2 および R_4 が H である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記式 (I) の化合物が、式 (Ib) の化合物

【化 5】



[式中、

R_1 、 R_2 、 R_3 、 R_4 、および R_5 は互いに独立して、H；線状、分枝状、もしくは環状の C_1 ~ C_6 -アルキル；テトラヒドロピリル、または - CH_2 -フェニルである]

であり、

前記式 (IIa)、(IIb)、(IIId) および (IIIf) において、

R₂ は O R' ₂ であり、ここで R' ₂ は、H；線状、分枝状、もしくは環状の C₁ ~ C₆ - アルキル、または - C H₂ - フェニルであり、

R₄ は O R' ₄ であり、ここで R' ₄ は、H；線状、分枝状、もしくは環状の C₁ ~ C₆ - アルキル、または - C H₂ - フェニルである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記触媒系が、担体に担持された触媒を含む不均一系である、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記触媒系が、Pd / BaSO₄、Pd / CaCO₃、Pd / Al₂O₃、Pd / TiO₂、Pd / SiO₂、Pd / ZnO、および Pd / C からなる群から選択される、請求項 8 に記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0024

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0024】

(R₁、R' ₂、R₃、R' ₄、および R₅ の定義における) 線状、分枝状、および環状の C₁ ~ C₆ - アルキル基はまた置換され得る。好適な置換基は、C₁ ~ C₄ アルコキシ (好ましくは - OCH₃ および - OCH₂CH₃)、およびアリールである。1つまたは複数の線状、分枝状、および環状の C₁ ~ C₆ - アルキル基が少なくとも 1 つの置換基で置換されている場合、置換基は、C₁ ~ C₄ アルコキシ (好ましくは - OCH₃ および - OCH₂CH₃)、およびアリールからなる群から選択される。